

釣行日:2008年12月27日(土)

釣行場所:熱海

利用渡船:富士丸

海況:大潮、西風、晴れ

参加者:8名

金田会員、坂根会員、清水会員、橋本会員、早藤会員、八尾会員、淡路
競技規定:

- ・メジナ 25cm 以上 3 匹までの総長寸
- ・フカセ釣りに限る

12月27日、2008年の締めとなる例会を開催しました。当初、西伊豆を予定していましたが、開催前の悪天候で西風とウネリが治まらず、急遽、熱海での開催となりました。熱海は、我々が拠点とする、釣エサセンタータカラ(湯河原)から程近く、集合時間、移動時間にゆとりがもて、また納竿が4時と冬場の夕まずめの釣りができ、最近チームメンバーに人気の場所となっています。

各磯の状況は以下のとおり。

【エボシコメント:橋本会員】

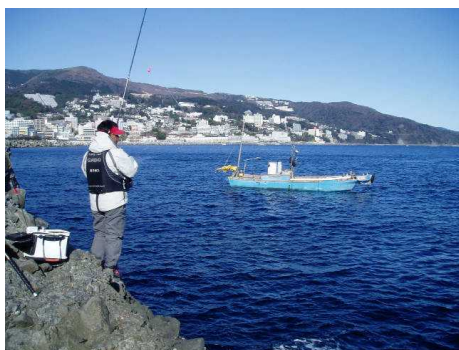
今回乗ったエボシは熱海でも一番沖向きの場所、クジの順番で早藤会員とのガチンコ・・・エボシの釣座は二ヶ所沖向きと港向きの少し高場

早藤会員が沖向きに入り私は港向きで釣り開始です。一投目から当りはあるものの・・・釣れるのはぎりぎりキーパーの尾長、早藤会員は一投目からタモ入れしプレッシャーをかけられてしまった。

少しずつでも口太が混じりだしたがなかなか潮が動かない状態が続くも、沖の沈み根周りを丹念に攻めて入れ替えも出来てなんとか検量に持ち込む

事が出来ました。終了前の時合いにドカンとサイズアップしたかったのですが。

皆さんお疲れ様でした、来年度もよろしくお願ひします。



【アラレ:八尾会員】

熱海曾我浦海岸に渡礁しました。

天気予報に反して又風裏になる為か波も風も殆どなく上々のコンディションの中、籤引き上位の私は中央のチャカ場、清水スタッフは熱海側のサラシが常にあって波立っている所、金田スタッフは伊豆多賀側にそれぞれ陣取っての釣行開始となりました。私がメジナ仕掛けを整えている間に金田スタッフは早々に年末年始の食糧調達の為あおりエギングをスタートさせていましたが水温低下の為か全くかかってはいませんでした。

肝心のメジナ釣りについては終始小メジナばかりで時折規定の 25 cm前後が釣れるという状態で手前のサラシの中、際、沖の潮目とポイントを変え、又浮き、タナを変えても続き、結局 30 cm up はゼロという結果に終わりました。

一方清水スタッフは波立っている中の根際を粘り強く攻めて時折 30 cm前後を吊り上げている様子でしたが飽きる？と年末年始の食糧調達の為カワハギ仕掛けでアラレを駆けずり回って良い型のカワハギをゲットしていました。私も急遽カワハギ仕掛けを用意してトライしたが結局根掛かりで仕掛けを失いギブアップした次第です。

金田スタッフは少し高場に陣取っていたのでメジナを釣り上げたのは一度も見ませんでした。終了後活かせバケツには良い型のメジナを揃えていました。

だが熱海港に戻って釣果の測定時に清水スタッフが 39.5 cmの最大長寸を釣り上げていたことを知り“さすが“と感心するばかりでした。



【カンノン コメント:淡路】

我々が渡礁したカンノンは平らで非常に足場の良い磯で、4名はゆったりと竿を出せそうな磯でした。特に坂根会員が入った左端は足もとがオーバーハングしており、丹念に攻めれば、良型が出そうな気配でした。また私が釣り座を構えたポイントも右端の洞窟の出口(入口ともいう)にあたり、夕まずめは大物が出そうな気配がありました。

釣果の方は、2人とも手のひらサイズのメジナの絨毯をかいくぐって、良型を引きずり出すことが出来ず苦しみましたが、そんな中でも坂根会員はきっちり規定の3枚を揃えて結果を出していました。私の方は何とか集中力を切らさないようにと頑張っていました。これからというときに突然洞窟の中から何かが叫ぶ声が聞こえ、覗いてみると5名程のダイバーが頭を出してこっちを見ていました。洞窟はダイビングポイントだったのです。彼らは、そのまま水面には顔を出さず、私の釣り座の前を行ったりきたりして楽しんでくれたので、しばらく水中から出てくる泡を眺めるしかできませんでした。ダイバーさえ来なければ、いいポイントなんですけどねえ～。



例会成績

	会員名	総長寸	内訳
優勝	清水会員	101cm	3匹
2位	橋本会員	94cm	3匹
3位	金田会員	90cm	3匹

文責:橋本会員、八尾会員、淡路 写真提供:金田会員、早藤会員、坂根会員